

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和6年度 第1回入間市児童福祉審議会
開 催 日 時	令和6年4月26日(金) 午前10時00分 開会 午前11時45分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 C棟5階 501会議室
議 長 氏 名	千葉弘明
出席委員(者)氏名	田辺暁己、田中祐里、苔縄雅恵、大森洋司、生田由紀子、吉川哲夫、 千葉弘明、桂川泰典、佐藤綾美、岩崎希、土橋秀子
欠席委員(者)氏名	神山菊枝、手塚久晴、守屋嘉久、池田拓
説明者の職氏名	こども支援課長 半田英樹、保育幼稚園課長 上野順一 青少年課長 宮岡弘
会 議 次 第	1 開会 2 委嘱状交付 3 副会長あいさつ 4 部長あいさつ 5 議題 (1) 令和6年度こども支援部事業概要について 6 その他 7 事務連絡 8 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	1人
配 布 資 料	資料1-1 令和6年度こども支援部事業概要
事務局職員職氏名	【こども支援部】 部長 齋藤忠士、次長 黒木聡子 【こども政策室】 室長 園田智慈 【こども支援課】 課長 半田英樹、主幹 根本章 主事 柳大悟、主事補 山口佳奈 【保育幼稚園課】 課長 上野順一 【青少年課】 課長 宮岡弘
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

- 1 下記の議題について事務局が説明し、審議を行った。
委員からの質疑については、事務局が回答した。

議 題

- (1) 令和6年度子ども支援部事業概要について

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
千葉副会長	<p>(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。)</p> <p>本日の議題に入る。今回の会議録署名人は吉川委員にお願いする。</p> <p>(1) 令和6年度こども支援部事業概要について</p>
千葉副会長	<p>「令和6年度こども支援部事業概要」を議題とする。事務局から説明願う。</p>
こども支援課長 保育幼稚園課長 青少年課長	<p>「令和6年度こども支援部事業概要について」、資料に沿って説明する。 (資料1-1に基づいて、こども支援課事業概要についてはこども支援課長が、保育幼稚園課事業概要については保育幼稚園課長が、青少年課事業概要については青少年課長がそれぞれ説明)</p>
千葉副会長	<p>事業概要について、変更があったものや力を入れていくものを中心に説明があった。そのうえで2点確認したいことがある。</p> <p>1つ目は児童手当について、支給対象児童が中学校修了までの児童から高校生修了相当までの児童まで拡大される予定ということで良いか。</p> <p>2つ目はこども家庭センターの相談件数について、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の両方の相談件数の合計ということか。</p>
こども支援課長	<p>いずれもそのとおりである。</p>
千葉副会長	<p>「令和6年度こども支援部事業概要について」、委員より意見や質問はあるか。</p>
土橋委員	<p>普段、NPO法人マナビダネで不登校のこどもの支援を行っているが、公的な不登校支援が明確になってほしいと感じることが多い。</p> <p>当法人は発達障害の支援団体が基となっているが、当法人の利用者を児童発達支援センターういず(以下「ういず」という。)へつないだこともある。そこでは、小学生は対応できないと言われたこともあり、取りこぼされているこどもがいるのではないかと感じている。</p>
岩崎委員	<p>子ども医療費や子育て応援ギフト事業等が拡充されて好感を持った。しかしながら、埼玉県の子育てファミリー応援事業と連携した子育て応援ギフト事業や子ども医療費は他市の方が先行して取り組んでいる。これらの事業の拡充が遅くなった理由は何か。</p>
こども支援課長	<p>子ども医療費の拡充については、地域間での格差が生じないために国や県に要望してきた。なかなか要望に応じてもらえないことから、昨年度に市長</p>

発 言 者	発 言 内 容
佐藤委員	<p>が子ども医療費の拡充について意思決定を行い、今年度の予算に計上されることになった。</p> <p>ヤングケアラーへの支援について、小中学生向けに作成された動画を何度も視聴した。行政が作成するものは表現が固く、こどもに馴染まないものであるイメージがあったが、この動画は簡潔で親しみやすく、小中学生に伝わりやすいものであった。若者世代にヤングケアラーに関する理解を深めてもらうためにも、入間ケーブルテレビや市役所本庁舎市民ホール、市内の県立高校等を通じて視聴する機会を作ることを検討してはどうか。</p>
こども支援課長	<p>ヤングケアラーに関する理解を深めてもらうように、市内全小中学校で動画視聴を実施する予定である。他の機関等を通じた動画での周知についても検討していきたい。</p>
千葉副会長	<p>ヤングケアラーは自覚がない場合もあるため、しっかりと周知や啓発をしてほしい。</p>
桂川委員	<p>年々、施策が改善されていると感じるが、市民に対する積極的な周知を続けていただきたい。心理的に支えられている感覚や市民の意見が市政へ反映されている感覚を持ってもらうことで、子育てへの安心感や子育て支援の満足度にもつながってくる。</p> <p>ヤングケアラー自身が自覚を持っていなかったり、声のあげ方がわからなかったりすることもあるため、実績が出てきたのはきめ細かい対応の結果かと思う。どこに重点を置いて周知等をしていくべきかという判断のためにも、対象世帯が支援につながった経緯を教えていただきたい。</p>
こども支援課長	<p>地域包括支援センター等からの情報もあるが、現状では学校からの情報が一番多い。</p>
桂川委員	<p>直接こどもから支援につながるというよりも、周りの大人がつないでいるケースが多いということか。</p>
こども支援課長	<p>そのとおりである。そのため、記名式のアンケートを実施し、ヤングケアラーだと思われる回答があった場合は、学校がこどもに対してヒアリングを行い、ヤングケアラーの可能性が高い場合は当課に情報提供してもらい、面談等対応していく。</p>
桂川委員	<p>アンケートを通じてこどもから支援につながるケースもあるということか。</p>
こども支援課長	<p>ヤングケアラーの可能性がある回答も見られたが、精査するといずれもヤ</p>

発 言 者	発 言 内 容
桂川委員	<p>ングケアラーとの判断には至らなかった。</p> <p>ヤングケアラーに該当しなくても、こどもなりに何か伝えたいことがあったと思うので、アンケートの意味がないわけではないと思う。</p>
こども支援課長	<p>ヤングケアラーではなかったとしても、引き続き学校での見守りはお願いしている。</p>
桂川委員	<p>ヤングケアラーに支援がつながるように、支援につながった経緯を分析しながら効果検証していただきたい。</p> <p>こども家庭センターについて、従来の子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の機能が合わさったとのことであるが、機能が強化された内容もあると思う。どのような機能が変わったのか伺いたい。</p>
こども支援課長	<p>地域保健課の兼務の職員とこども家庭センターの職員で合同ケース会議を行い、取り上げられた案件についてサポートプランを作成し、年齢に応じて更新して支援していく。また、従来の家庭児童相談員がこども家庭支援員となり、今後はこども家庭福祉の認定資格の取得等によって、より効果的に進めていく予定である。</p>
桂川委員	<p>支援が充実していく中で、職員が兼務するという話がよくあがるが、職員の負担が増えて心配である。</p>
千葉副会長	<p>ヤングケアラーに関してはアウトリーチにおいてどのようにヤングケアラーを見つけていくのが重要である。民生委員・児童委員や社会福祉協議会等との連携等が必要になってくると思われる。</p>
吉川委員	<p>子どもの居場所づくり支援事業について、こどもの居場所はこども家庭庁も力を入れており重要なものであると思うが、実施内容をもう少し説明していただきたい。</p>
こども支援課主幹	<p>昨年閣議決定されたこどもの居場所づくりに関する指針の内容を踏まえて、本市の状況も考慮しながら検討しているところである。</p>
吉川委員	<p>児童手当や子ども医療費が拡充されるのは良いが、代わりに予算が削減された部分があるのか否か教えていただきたい。</p>
こども政策室長	<p>児童手当に関しては、対象児童の拡大による増額分について国の交付金も拡充されるため実質的に市の負担は増えない見込みである。また、子ども医療費に関しては、市の対象児童の拡大と同じタイミングで、県の補助金も一部増額されるため、市の負担は6000万円程になると見込んでいる。この</p>

発 言 者	発 言 内 容
生田委員	分については、総合的に予算全体の中から捻出している。 ヤングケアラーのリーフレットが各地区センター等には置いてあるが、小中学校のこどもに配られているものなのか。
こども支援課長	そのとおりである。
生田委員	ヤングケアラーの未然防止や早期発見のためにも小学校低学年向けのものがあると良い。 放課後子ども教室のコーディネーターをしているが、参加するこどもはリピーターが多い。参加者層を広げるために市公式LINEアカウントのセグメント配信にて周知したので、どのくらい申し込みがあったか気になっている。
大森委員	県内市町村と比べても、本市はヤングケアラー支援をはじめとして子育て支援について進んでいると認識している。また、ヤングケアラーやDV等の問題を抱えている方は複数の問題を抱えている可能性が高い。各部署と連携しながら対応していただきたい。 職員の負担が大きい中で対応するよりも、余裕のある人員体制で対応した方が、こどものためにつながってくると思う。
苔縄委員	周りの働く保護者からは保育所や学童保育室、病後児保育等の悩みや意見を耳にする。近年、待機児童も少なくなってきた印象であるが、まだまだ課題が多いと感じる。今年度の待機児童数が出ていないが、議題になった際には意見を述べたい。
田中委員	児童センターについて、小学生向けのイベントと乳幼児向けのイベントの回数を教えていただきたい。
青少年課長	後日、資料を提供させていただく。
田中委員	保育所連絡会で人形劇等のイベントを実施していたが、物価高や市からの補助金がなくなったことからイベントを開催できない状況である。そのため、乳児幼児向けのイベントがあれば増やしてほしいと感じている。
千葉副会長	乳幼児が集まる場所は保護者の情報交換の場になるため重要である。
田辺委員	ういずについて、相談件数の集計表を見ると「発達について」が最も多く、きちんと機能している証拠であると思う。ただ、幼稚園の入園の相談の際に発達に課題のあるこどもの保護者から相談を受けることも多いが、そのような方に限ってういずを知らないことが多く、幼稚園からういずにつない

発 言 者	発 言 内 容
こども支援課長	<p>でいる状況である。そのようなことから本当に支援が必要な方に情報が行き届いているのか疑問に感じている。また、就学相談の相談件数が少ないが、教育センターとの連携がどうなっているのか教えていただきたい。</p> <p>周知については地域支援を展開していく中で、ういずを知ってもらう機会を作っていきたいと考えている。</p> <p>教育センターとの連携については、ういずの職員で教育センターと兼務している職員がいるため、教育センターと情報交換をして、連携をとっている状況である。</p>
千葉副会長	<p>私の所属している大学でも他市の審議会に所属している教員が多いが、他市と比べると本市は委員からの意見を反映することが多く、評価が高いため積極的にアピールしてもらいたい。ただ、まだ委員から意見が出るということは改善点があるということでもある。審議会を通して本市の子育て支援がより良くなっていくために、各委員には積極的に審議していただきたい。</p> <p>他に意見がないようなので、議題（１）「令和６年度こども支援部事業概要について」は以上とする。</p> <p>以上で閉会とする。</p>

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和 6 年 5 月 17 日

議 長 の 署 名

千葉 弘明

議長が指名した者の署名

吉川 哲夫

